

工場環境保全対策

FDKグループでは土壌や地下水・大気などへの環境汚染を未然に防止する環境保全活動を行っています。これらは、環境の調査から対策までを事業としている子会社の㈱富士電化環境センターと連携して、グループ一体となった活動を展開しています。また、環境基準値につきましては、公的な規制値よりも更に厳しい自主基準値を設けて管理を行い、これらの測定データは、定期的に行政へ報告しています。2004年度は、環境法令に関する違反や環境保全に関わる事故などはありませんでした。

土壌・地下水への取り組み

当社は、1999年10月に土壌・地下水汚染を公表し4工場（鷺津工場、細江工場、大須賀工場、山陽工場）において土壌地下水汚染の浄化対策を進めてきました。2002年には、細江工場の土壌・地下水汚染の浄化が完了しました。

2004年度は、大須賀工場の土地の健全性を確認するため、再度土壌汚染対策法に基づいて調査を行いました。その結果、基準値以下であり、土壌の健全性が確認できました。その他の工場につきましては、引き続き土壌の浄化とモニタリング調査を継続していきます。



大須賀工場での土壌ボーリング調査

緊急時対応訓練の実施

静岡県の湖西工場では東海地震の発生が近いといわれていることから、毎年、地震の発生を想定した地震防火訓練を行っています。この訓練では、避難訓練、救護訓練、火災時の消火訓練に加え、工場敷地外への環境汚染の危険性についても想定しています。2004年度は、危険物倉庫から化学物質が流出したと仮定した緊急対応訓練を行いました。



化学物質流出防止訓練(湖西工場)

ポリ塩化ビフェニル(PCB)保管・管理

PCB特別処置法に基づき、2004年度におけるPCBの保管数量を都道府県知事に届け出を行いました。PCBは台帳管理による数量把握とともに適正に保管し管理しています。今後は、PCBの処理方法確立後に、適正な処理を行います。

排水分析結果（湖西工場）

分析項目	単位	規制基準(国)	管理基準(FDK)	実測値(最大値)
PH(水素イオン濃度)	—	5.8~8.6	6.0~8.4	7.6~8.0
COD(化学的酸素要求量)	mg/ℓ	160	15	6.6
BOD(生物学的酸素要求量)	mg/ℓ	160	15	5.6
SS(浮遊物質)	mg/ℓ	200	20	10
n-ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	5	3	<0.5
銅	mg/ℓ	3	0.5	<0.05
亜鉛	mg/ℓ	5	0.5	0.2
溶解性鉄	mg/ℓ	10	3	<0.3
溶解性マンガン	mg/ℓ	10	3	<0.1
窒素	mg/ℓ	120	40	18
リン	mg/ℓ	16	5	2.2
ニッケル	mg/ℓ	—	0.5	<0.05
鉛	mg/ℓ	0.1	0.05	<0.01
ジクロロメタン	mg/ℓ	0.2	0.1	<0.02

ベンゼン、フッ素、砒素、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1-1-1トリクロロエタン、総水銀、四塩化炭素、カドミウムについては、自主基準値及び検出限界値を大幅に下回っていました。